

水曜2コマ(ジンギスカン)チーム:最終報告

担当プラン:動画の作成

○メンバー紹介

長尾早優花

人間文化総合科学研究科 博士前期課程 住環境学専攻 1年

李詩倩

文学部1年

段浦さやね

工学部1年

○なぜジンギスカンチームになったのか？

好きな日本食がチーム名のお題でした。3人で好きな日本食を出し合うなかで、李さんが北海道を訪れた際に一番気に入った、ジンギスカンに決めました。パンチが効いていて、すぐに3人も気に入ったからです。

○この授業に参加するにあたって工夫したところ

授業開始前から話しかけてコミュニケーションをとるように気をつけました。また相手に自分の話したいことが伝わるようにできるだけ簡単な言葉はないか考えた、紙に文字や図を書いてイメージを共有できるように努めました。(長尾早優花)

テーマは「国際交流」だけで、ゼロからの作業だと言える。時間も限れていて、スケジュールの把握は大事だ。(李詩倩)

些細なことも共有しておくことです。お互いに会話していて、聞き逃してしまったりしたことを後からでも確認できるようにしました。また、なるべく目を見てゆっくり話し、お互いに気軽に聞き直せるように努めました。(段浦さやね)

## ○実際の作業スケジュール

### <第一回>

- ・チーム名の作成
- ・課題について、どのプランを担当するか決めた(第一候補:コトク内の装飾、第二候補:動画の作成)
- ・全員で対面授業に参加することにした
- ・内容についてのアイデア
  - ・奈良女子大学で食べられる海外のごはん
  - ・留学生の国紹介
  - ・大学周辺の海外の人が建てた寺社仏閣の紹介

この中で「奈良女子大学で食べられる海外のごはん」というテーマに決定

### <第二回>

- ・アンケートを作成し、学生が食べたい海外の料理を知りたい!  
→実際に大学内で提供できないか
- ・アンケートの方式(QRコード)に決定
- ・アンケート内容(中華、ベトナム、マレーシア、韓国、その他記述欄)  
→Q:この中で食べてみたい国のごはんを選んでください。
- ・アンケートの掲載場所(コトク前、国際交流センター前、食堂内)を食堂の方にお話を聞くとともに決めた
- ・食堂の方にアンケートポスター掲載の依頼
- ・留学生に別途料理を紹介してもらえないか→写真をメールで送ってもらう形式

### <第三回>

- ・実際にアンケートの作成
- ・アンケートに掲載するそれぞれの国の代表の料理は食堂で提供しやすいように、日本でも調理できる、材料を比較的そろえやすいことに重点を置いて決めた
- ・アンケート作成後 QRコードにしてポスター作製し、各場所に貼って回った



ポスター掲載時の写真(食堂内)



ポスター掲載時の写真(コトク内)

- ・留学生に故郷の料理を紹介する写真を送ってもらえるよう、英文付きの依頼メールを作成した

#### <第四回>

- ・ポスター回収

- ・アンケートの結果確認

→投票で選ばれた料理: コムガー(ベトナム料理)と坦々味噌スンドゥブ(韓国料理)

- ・結果をまとめ、レシピ付きで食堂の方に実際に大学の食堂で提供できないか提案した

- ・動画の内容を決めた

- ① アンケートでやった内容(いつか実現するかも)
- ② 留学生の作ったご飯(写真も載せる)
- ③ 奈良女子大学の食堂内で食べられる海外のごはん(すでに提供されているメニュー)



活動の様子

#### <第五回>

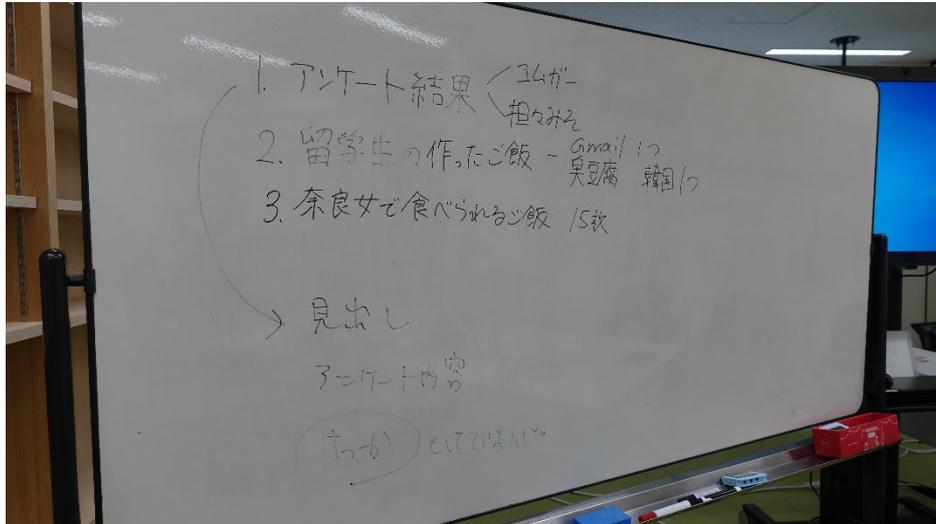
- ・動画用に作るパワーポイントのスライド必要事項

(① 見出し、②アンケート結果、③留学生が作った料理、④奈良女子大学の海外料理 15 枚)

- ①、②、④は完成

- ・各自作業に打ち込んだ

・各回の反省点として感じていた、限られた時間内で作業を行うためにやるべきことを整理できていなかったということを踏まえて、改善点としてホワイトボードを活用し、作業に入る前に今日のやることを確認した



今日の作業を整理したホワイトボード

#### <第六回>

- ・前回作成した動画用スライドにふりがなをつけた
- 見出し、奈良女子大学食の海外料理 15 枚のスライドにはふりがなをつけ終わった

#### <第七回>

- ・スライドの完成
- ・bgmの検討
- ・メールで食堂の担当者の方から私たちが提案したコムガーと坦々味噌スンドゥブが提供されるとい嬉しい報告をうけた

#### <第八回>

- ・bgmを決めた
- ・ふりがな等の細かい修正
- ・パワーポイントのスライドを動画にした
- ・動画の完成

#### ○完成したのを見て気づいたこと

完成後、思っていたよりも誤字脱字があり、また自分達で作成するだけでなく第三者に見てもらってから修正点が必要なことに気付きました。また、海外の料理に対して違う文化を持つ人が見ると変わった受け取り方になるということがわかり、そこに文化の差を感じました。お互いの国を理解しようと思って接する人は共感できても、片方の価値観だけで相手の文化を見ている人がいると中々文化の差は縮まらないのだと改めて思い知らされました。(長尾早優花)

やさしい日本語の重要さを感じる。(李詩倩)

振り仮名をつけることは意外と難しいことです。変換をミスしてしまうことも多かったです。料理は奥が深いので、簡潔に分かりやすく正確に書くことが難しかったです。(段浦さやね)

#### ○作業する中で気づいたこと

既に奈良女子大学の中でこんなにも沢山の海外の料理が食べられるということを初めて知りました。また、海外からの留学生が様々な国々から来てくださっていることを知り、嬉しかったです。さらに違う国や学年、専攻などバックグラウンドが違う者同士でも一つのテーマに沿って取り組むことで仲良く交流できるということに改めて気づかされました。(長尾早優花)

このような数多いかつ美味しい外国料理が奈良女の学食で食べられるなんて、奈良女の学食やはり素晴らしい！(李詩倩)

料理名を知っていても、どこの国の料理か知らないことが多いということです。アジア圏の区別もあいまいで、いつもよく分からずに食べているということです。また、中華料理など、日本人の口に合うようにアレンジされたものが多いです。私たちは、本場の味付けしかオリジナル料理として認められないと思っていましたが、本場の人たちは懐が深かったことが分かりました。味を変えることは、国内でもあることで、他国に伝来しても料理として認められることに驚きました。

(段浦さやね)

#### ○それぞれのメンバーの良いところ

段浦さん:

初回から積極的にアイデアや自分の意見を出してくれました。もともと動画のテーマになった「奈良女子大学で食べられる海外のごはん」も段浦さんのアイデアで私には思いつかなかったので挑戦してみたいと思いました。また作業段階に入るとどんな作業が必要か、自分に何ができるか考え、積極的に「私はこれやりますね！」と言ってもらえたのでスムーズに作業が進みました。

李さん:

中国の料理や日本との違いを話してくださり、私にはない視点から見たこと共有して下さったので毎回新しい発見に驚かされていました。また、意思疎通がうまくいかないときに私が何を意図しているのかわかろうとして下さりとても助かりました。パワーポイントやアンケートの作成時にはフォントや文字の色といった細部までデザインをしてくださり、どうしたら見る人の興味をひけるか考えてくださりました。

(長尾早優花)

段浦さん:

留学生からのメールや学食の写真の編集など、大きく作業量でまともにやっていた。奈良女生と  
いけば真面目なイメージで、まさに段浦さんのような人だ。

長尾さん:

生協や先生たちとの連絡全部うまくやっていた、上級生の余裕でもあるかもしれないが、長尾さんのコミュニケーション力と協調性はとても高い。

(李詩倩)

李さん:

いつも客観的に意見を述べてくれます。主題から逸れそうになったときに、基本に立ちかえるように、気づかせてくれました。中国の文化について、色々なことを教えてくれて楽しかったです。

長尾さん:

情報をまとめてくれます。さすが上級生といった感じです。生協の方との交渉や、日程の調整など、細かいところに気を配ってくれました。動画が期間内に作り終わったのは、長尾さんのおかげです。

(段浦さやね)

○ほかの奈良女子大学生(留学生含む)にメッセージ!

この授業は少人数なので普段話をするのが苦手な方でも、勇気をもって自分の意見を伝えやすいです。また、先生を含め学生や参加者が意見や、やりたいこと、困っていることに耳を傾けてくださるので安心して参加できます!留学生、他学部、他学年といった普段の自分の専攻の授業を受講しているだけでは出会えない人々と出会い、交流することができます。コミュニティを広げるチャンスなので是非受講してほしいです。

(長尾早優花)

おもしろいからぜひこの授業を参加してみてください。

(李詩倩)

グループワークにあまりいい思い出がなく、受講をためらっている人に是非とも受けてほしい授業です。少人数なので、メンバーと意思疎通が取りやすく、国際交流もできてしまいます。一回生も、留学への第一歩として気軽に受講してみましょう！

(段浦さやね)